

令和8年度事業計画書

人口減少が進む地域で将来にわたりそこに住む人々が健康で幸せを感じながら主体的に暮らすことができる持続可能な社会を創造するために、市民の健康課題の解決とウェルビーイングの実感につながる活動を行う。

令和7年度からの取組テーマ及び活動方針を引き継ぎ、さらに創意工夫と充実を図りながら事業を実施する。

1. 取組テーマ

「認知症との共生、先端医療と社会的処方」の街 養父市」に向けた取組

2. 活動方針

- (1) 養父市の現状把握と課題共有
- (2) 取組テーマに即した健康加齢に関する調査研究及び市民啓発
- (3) 市民が幸福に暮らしていける持続可能な地域共生社会の創造に向けた諸活動
- (4) 研究所活動の周知と体制整備

3. 事業内容

(1) 調査研究

医学的処方と社会的処方を組み込んで、市民の健康加齢の増進と幸福度を向上させるための調査研究を推進する。

◆統括

研究所所長 中尾一和

医療医学、文化芸術、社会経済の分野の研究室（主任研究員）の研究テーマに沿った調査研究活動を効果的に行うため、研究所及び各研究室相互の連携を主宰する。

◆医療医学部門

①トランスレーション医学研究室 部長（主任研究員）中尾一和

研究テーマ：ホルモンのトランスレーション研究を生かした生活習慣病に関する調査・活動

活動の概要

ホルモンのトランスレーション研究と関連する生活習慣病などに関する研究を行いながら、市民の健康加齢に資する教育・活動などを行う。

②認知症疾患研究室 部長（主任研究員）西村正樹

研究テーマ：認知症疾患とくにアルツハイマー病の予防と診断治療に関する研究

活動の概要

早期アルツハイマー病の抗アミロイド治療を実践しつつ、社会的処方をする症例を担当部署につなげる。並行して、養父市における認知症実態調査を行うとともに、血液を用いた新たな診断法の開発を進める。

③社会的処方研究室 部長（主任研究員）近藤尚己

研究テーマ：ソーシャルキャピタルや文化資本が健康に及ぼす影響、社会的処方の推進手法の開発と効果実証に関する研究

活動の概要

養父市における社会的処方・文化的処方に関する事業・活動を対象として、評価手法・指標・ツールを開発しつつ、効果・影響の評価を行い、改善や質の向上につなげ持続可能性を追及する。

◆文化芸術部門

④文化的コモンズ研究室 部長（主任研究員）藤野一夫

研究テーマ：文化芸術とケアをリンケージさせることで地域社会のコモンズ（入会地）を育む研究

活動の概要

クアオルトの方法を活用し、文化・芸術と健康・医療と観光のリンケージによってウェルビーイングと地域再生に寄与している事例を調査し、養父市での実装、及び全国各地への応用の可能性と課題を究明する。

⑤文化的処方研究室 部長（主任研究員）古賀弥生

研究テーマ：疾病、障がい、社会的困難と共にある人への文化芸術からのアプローチに関する研究

活動の概要

養父市において芸術文化を活用した社会的処方（文化的処方）の実践を行い、その成果測定と実践継続のための環境整備のあり方を検討する。

◆経済・社会部門

⑥官民共創研究室 部長（主任研究員）宮垣健生

研究テーマ：市民の健康加齢の増進と幸福度の向上に資する、インパ

クト志向の官民共創事業に関する研究

活動の概要

養父市における多様な形の官民共創事例の創出に向け、内閣府の地方創生SDGs調査・研究会報告書を活用した啓蒙活動・事例づくりを行う。特にDXやGX、越境人材の活用・育成を意識する。

(2) 市民講座「養」

認知症予防につながる健康加齢及び幸福満足度を向上させるための啓発・教育活動を行う。

「健康」「幸福」及び取組テーマを組み込みながら、医療・健康、文化・芸術、経済の分野の視点から、市民の健康加齢に有益な講座を市内各地で年4回程度、開催する。

市民講座には文化・芸術活動を組み込み、市内4地域を巡回して、以下のとおり実施する。

- ① 令和8年5月頃 大屋地域
- ② 令和8年9月頃 養父地域
- ③ 令和8年11月頃 関宮地域
- ④ 令和9年2月頃 八鹿地域

(3) 市民等への情報開示・広報等

研究所の活動状況等について、適宜、ホームページ等を活用して広く社会に情報開示を行うとともに、令和8年度は、市民の研究所への関心度の向上に向け、ケーブルテレビを活用して主任研究員が出演して健康・幸福に関する情報を市民に提供する番組を放映する。

また、1年間の取組をまとめた広報紙を作成し、市民に配布する。

(4) 市への助言・提言

市からの求めに応じて、適宜、助言や提言を行う。

(5) 研究機関としての体制整備に向けた検討

令和7年度に引き続き、研究員の補充、研究費獲得のための研究機関としての体制整備や紀要又は年報の発行等を検討する。

(6) その他、諸活動の検討と実施

養父市の現状や課題を把握するための調査、他の研究機関及び市内関係団体との連携や、交流機会の構築など、市民が幸福に暮らしていける持続可能な地域共生社会の創造に寄与するための諸活動について検討し、必要に応じて

実施する。

(7) 主任研究員による定例会議等

上記の活動を円滑かつ効果的に推進するため、主任研究員による定例会議を毎月、開催する。

また、世界・国内の潮流、先進事例などを共有することを目的とした勉強会の開催を必要に応じて開催する。

収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	2,000	1,000	1,000	
事業収益	0	0	0	
補助金収益	10,000,000	10,000,000	0	
寄付金収益	10,000	10,000	0	
雑収益	3,000	1,000	2,000	
経常収益計	10,015,000	10,012,000	3,000	
(2) 経常費用				
事業費	(8,750,300)	(8,587,600)	(162,700)	
役員報酬	150,000	150,000	0	
給与手当	984,000	1,479,000	△ 495,000	
福利厚生費	17,000	259,000	△ 242,000	
旅費交通費	1,365,000	1,065,000	300,000	
通信運搬費	210,000	185,000	25,000	
消耗什器備品費	897,000	504,000	393,000	
印刷製本費	1,514,000	1,159,000	355,000	
賃借料	649,000	503,000	146,000	
諸謝金	1,385,000	1,615,000	△ 230,000	
租税公課	0	0	0	
負担金	180,000	180,000	0	
委託費	1,249,000	1,347,000	△ 98,000	
雑費	150,300	141,600	8,700	
管理費	(1,130,700)	(1,289,400)	(△ 158,700)	
役員報酬	488,000	525,000	△ 37,000	
給与手当	174,000	261,000	△ 87,000	
福利厚生費	3,000	46,000	△ 43,000	
旅費交通費	50,000	50,000	0	
通信運搬費	37,000	37,000	0	
消耗什器備品費	23,000	15,000	8,000	
印刷製本費	35,000	35,000	0	
賃借料	51,000	51,000	0	
委託費	170,000	170,000	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	72,000	72,000	0	
雑費	27,700	27,400	300	
経常費用計	9,881,000	9,877,000	4,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	134,000	135,000	△ 1,000	
評価損益等計				
当期経常増減額	134,000	135,000	△ 1,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		
当期経常外増減額	0	0	0	
予備費	134,000	135,000	△ 1,000	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	6,049,616	5,467,811	581,805	
一般正味財産期末残高	6,049,616	5,467,811	581,805	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	6,049,616	5,467,811	581,805	